

(第三種郵便物認可)

1993年(平成5年)4月30日(金曜日)

言

書

衆

国際大学大学院
游仲勲教授



冷戦の遺構が残る中国・台湾の関係において、トッ

プ会談が行われたことに歴史的意義がある。今回は経済的な協議だけだったかもしれないが、次第に政治的な問題もテーブルに上るようになる。

近隣諸国、歓迎と不安

喜んだと思う。中国と台湾との間の武力紛争の可能性が減るといって、中国・台湾の関係強化は近隣諸国も非常に歓迎すべきことだ。しかし、逆に新たな不安

は、という懸念だ。例えばインドネシアなどは華人の中国への投資が激増し、周辺からの反発を招くことにもなりかねない。

(アジア経済論)

米カリフォルニア大学
サンディエゴ校
中島 嶺雄客員教授



事務レベルでホットラインが出来たことなど今回の会談は画期的だし、歴史的意義をもつと思う。中台が経済的相互依存関係を強める中、製品名を統一したり、共通した技術規

統一への歩み加速せず

の歩みが加速する、と考へるのには大きな誤りだろう。台湾側は、会談実現に向け、民間の海峽交流基金設立のほかに総統府、行政院各

格を作るなど世界経済に与える影響も大きい。また、台湾海峡兩岸の関係がアジアの将来に与える政治的意味は絶大と言わねばならない。だが、これで中台統一へ

(国際関係論)

中台関係の最近の主な動き

- 1984年7月 ロサンゼルス五輪に初の中台同時参加
- 87年11月 台湾が大陸への親族訪問を解禁
- 89年6月 中台間に電話開通
- 90年9月 北京アジア大会に台湾代表団が参加
- 10月 台湾が国家統一委員会を設置
- 11月 台湾が対大陸問題の民間窓口「海峽交流基金会」を設置
- 91年2月 台湾の国家統一委員会が中国統一を進めるための3段階方針をうたった「国家統一綱領」を採択
- 5月 台湾の李登輝総統が憲法上の「動員・反乱鎮圧時期」臨時条項の終結を宣言。内戦状態が法的に終結
- 6月 中国共産党台湾工作弁公室が海峽兩岸の対話と交流の拡大など統一に向けた3項目提案発表
- 8月 新華社記者ら大陸の記者2人が初めて取材目的で台北入り
- 12月 中国が対台湾問題の民間窓口機関「海峽兩岸関係協会」を設置
- 92年11月 台湾が金門、馬祖兩島の戒嚴令を解除
- 93年4月10日 台湾の「海峽交流基金会」邱進益秘書長が訪中、中国側の「海峽兩岸関係協会」との間で初のトップ会談を4月末、シンガポールで開催すると発表
- 27日 シンガポールで汪道涵副委員長と辜振甫・海峽交流基金会理事長によるトップ会談開始
- 29日 中台交流の制度的枠組みを示した「共同合意書」と実務的規定の3合意文書に調印

中台対等の立場強調

合意書 年号や字体に腐心

【シンガポール29日】中津幸久 二十九日調印された中国と台湾の「共同合意書」(中国語は「共同協議」)

は、名称をめぐって三転、三転したほか、調印の日付に年号を入れないなど、微妙な関係を象徴する「苦肉語、以下同じ」や「会談紀

要」を提案したが、外交文書に近い「備忘録」を堅持する台湾側が拒否。中国は妥協策として「協

議書」「議定書」へと譲歩したものの方譲らず、結局、「共同協議」で落ち着いた。台湾の邱進益・海峽交流基金会秘書長は「事前に決まっていた他の合意文書の名称に合わせた」と説明し

た。さらに、合意書は「四月二十九日調印」としただけに年号を入れない。中国も政治問題を避けた形となった。

また、中台はともに中国語を使っているが、大陸では漢字は簡略化された「簡体字」を使い横書きを使用、台湾では旧字体の「繁体字」で縦書きを使っている。代表が席を入れ代わるほど対等の立場を強調する演出

中台合意書の要旨

【共同合意書】

一、不法入境者の送還、海上での密輸など海賊行為の摘発、漁業紛争の解決、知的財産権の保護、司法機関の相互協力関係の相互協力などについて年内に事務レベル協議を行う。

一、経済交流を強化、互いに補い合って互恵を図るべきであるとの認識で双方は一致した。台湾企業は中国における投資権益、経済関係者の相互訪問の問題については、適当な時期に適切な場所を選び継続して協

【公正証書に関する合意書】

一、この合意文書は署名から三十日後に発効し実施される。

【両団体の連絡と会談に関する合意書】

一、この合意文書は署名後、互に補い合って互恵を図るべきであるとの認識で双方は一致した。台湾企業は中国における投資権益、経済関係者の相互訪問の問題については、適当な時期に適切な場所を選び継続して協

め、合意書は両字体で縦横書きのものをそれぞれ用意し、調印の際は途中で両代表が席を入れ代わるほど対等の立場を強調する演出